

平成 29 年第 12 回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成 29 年 12 月 19 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 50 分

○場 所 三浦市役所第 2 分館 教育委員室

○次 第

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 署名委員の指名

玉 井 恵 理 委員、 廣 瀬 牧 実 委員

4 教育長報告

(1)平成 29 年第 4 回三浦市議会定例会について

(2)年末年始における綱紀粛正について

(3)年明けの主な事業について

(4)平成 29 年を振り返って

5 報告事項

(1)平成 29 年 11 月の後援名義等使用について

(2)平成 29 年第 4 回三浦市議会定例会の状況について

6 その他の事業について

(1)ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について

(2)第 64 回文化財防火デーについて

(3)三浦市社会教育講座「季節の料理講座」飾りまき寿司“春”ランチの開催について

(4)三浦市社会教育講座「趣味の農業」20 期生募集について

(5)三浦市社会教育講座 三浦ゆかりの歌を歌いましょうの開催について

7 その他

8 閉 会

○出席委員（５名）

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	下 里 矩 生
委 員	松 尾 恒 廣
委 員	玉 井 恵 理
委 員	廣 瀬 牧 実

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	君 島 篤	学 校 教 育 課 長	八 卷 貞 司
学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫	文化スポーツ課長	堀 越 修 一
南下浦市民センター館長	小 川 史 郎	初声市民センター館長	見 上 正 行
青少年教育課主査	ソリバン 薫	図 書 館 主 査	永 井 孝 憲

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	長 島 正 紀
-------------------	---------

○傍 聴（１名）

○三壁教育長 それでは、ただいまより平成 29 年第 12 回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成 29 年第 11 回三浦市教育委員会定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○三壁教育長 ご異議ないようですので、前回会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に玉井委員と廣瀬委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

○三壁教育長 それでは、次第 4「教育長報告」になります。

私から 4 点ほど報告をさせていただきます。

平成 29 年も残すところあと 10 日余りとなりました。定例会も本日が今年最後の開催ということになります。

始めに、平成 29 年第 4 回市議会定例会が 12 月 5 日から 15 日までの 11 日間開催され、15 日(金)に終了しております。特に、本会議での一般質問については後ほど部長から報告がございますけれども、若干頭出しだけさせていただきます。

一般質問については、5 人の議員から、特に学校教育に関わる質問がございました。郷土の学習について、学力向上、長期欠席・不登校の対応について、いじめ、教育相談、高齢者との交流について、それから災害の対策ということで、これは 9 月 21 日、28 日の台風の影響により市内で影響があったわけですが、特に学校関係の状況についてご質問がありました。

また、都市厚生常任委員会では、ここでもお話をさせていただきました指定管理者の指定について議案が提出されました。教育委員会関係では市民ホール、総合体育館、飯森スポーツ公園内の運動施設、そして指定の変更ということで上宮田児童会館についても議案提出され、全て承認をいただいております。

後ほどの報告事項にもございますので、部長から詳細を報告させていただきます。

次に、昨日今年最後の定例校長会が開催され、教育部長の方から12月議会の概要の報告、それから年末年始の子どもたちの安全についての指導、また、教職員については度々お話をいたしますけれども、忘年会等お酒を飲む機会が増えるということで、責任を持った行動を心がけるよう指導をしたところです。

年末年始ということでお話ししましたが、学校は12月22日が終業式、翌年1月9日が始業式となります。また、教育委員会を含めた市役所については、12月28日が仕事納め、1月4日が仕事始めとなります。

3点目ですが、年が明けての主な事業についてお話いたします。既に委員の皆さんにはご案内が届いているものもあると思います。前回、下里職務代理からお話をいただきまして、月の日程表がお手元にあると思いますが、そのような流れで事業が行われることになります。日程表は教育委員会関係だけではなく、市の主催する事業についても記載しております。

まず、5日に新年祝賀式がございます。この時に、市の表彰がございます。今回は功労表彰が22名、善行表彰が21名の計43名で、団体が5団体となっています。その中で教育委員会関係では、功労表彰が3名、善行表彰が10名、うち団体が4名ということで、13名でございます。お時間がございましたら、ぜひご出席をいただきたいと思います。

最後ですが、平成29年度は3月まで、通常業務や教育委員会として大切な課題もございます。その中で、この1年を振り返ってみますと、もちろん毎月の定例会で報告をさせていただいておりますけれども、良いことも、非常に残念なこともございました。その中で、悪いことは過去のことでですからあえて申し上げませんが、小中学校11校での海洋教育が実践、推進されたことは大変良かったと思います。

皆さんご存知だと思いますけれども、平成24年に三浦市と東京大学臨海実験所が連携協定を結び、そこからスタートしたわけです。4年間は東京大学臨海実験所の援助、支援、ご指導をいただきながら、教育委員会の学校教育課が窓口になって進めた事業です。特に、最初の1年は名向小学校がモデル校になって、この4年間で11校が全て参画して授業をしてきました。そして昨年からは、一般社団法人みうら学・海洋教育研究所を立ち上げて、日本財団から援助をいただいて2年目ということです。

特にこの2年間でかなり飛躍をして、各学校で積極的に、地元の関係者も含めて事業の推進に努めている状況です。非常にこの2年で躍進しているなという思いがあります。

その中で、11月30日、12月1日の2日間、全国各地から海洋教育を実践している小・中・高の先生方が30人ほどマホロバマインズ三浦に集まりまして、フォローアップ研修なるものを行いました。その時に、初声小学校の授業を見学し、それから矢作の海岸で実践しているものを視察して、その後にマホロバマインズ三浦でフォローアップ研修を行ったということです。これは東京大学海洋アライアンスと日本財団、それから笹川平和財団海洋政策研究所の3者が共催して、三浦でぜひやりたいということで実施されたものです。

何を申し上げたいかと言いますと、やはり、ここのところの三浦の実績を皆さん理解していただいた上で、三浦で研修会が開催されたということだと思います。このための交通費や宿泊費は全て笹川平和財団で用意していただきました。この6年の間に、このくらい三浦が東京大学からも認められ、財団からも認められたということで、非常に光栄に思っていますし、私も出かけていって、3者にお礼を申し上げた次第です。

期待は大きいですので、来年もこれまで同様にみうら学・海洋教育研究所と学校教育課で連携をして11校をカバーしていくということです。外に向けても、三浦でやっている独自の方法を、どんどん配信して、もっと磨きをかけたいという思いがあります。そのことによって、大変財政的に厳しいわが市としては、財団からの支援をいただく中で、学校には絶対ためになるような、財政的な部分をカバーした事業を行っていきたいと思っています。これからも、逐一ご報告いたしますが、本日お手元に研修を行った報告が配布されていますので、ご覧いただければと思います。

以上、教育長報告とさせていただきます。

○三壁教育長 ご質問等がございましたらお願いします。

○三壁教育長 ございませんか。なければ教育長報告を終わります。

それでは、次第5「報告事項」に入ります。

(1)平成29年11月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 平成29年11月の後援名義等の使用についてご報告いたします。

議案・資料1ページ、資料1をご覧ください。

平成29年11月に資料記載の学校教育課関係1件、文化スポーツ課関係3件、計4件の申請について、承認をいたしました。内容等についてご質問・ご不明な点がございましたら、担当課よりご説明いたします。

○三壁教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 それでは私から何点か質問させてください。

1番の、三浦青年会議所が行った事業について、12月3日に終了しているということで、参加者は市内の児童・生徒ということだったと思うのですが、何人くらい参加があったか分かりますか。

○八巻学校教育課長 家族での参加ということで、19組、子どもが40人、保護者が19人の計59人が参加したということです。

○三壁教育長 分かりました。

それから、3番の横須賀剣道連盟級審査会について、主催はどこでしょうか。

○堀越文化スポーツ課長 申請者は三浦市剣道協会ですが、主催は横須賀市剣道連盟です。この級審査会に、横須賀市だけでなく本市や逗子市からも級審査を希望する子どもたちが参加しています。

○三壁教育長 ありがとうございます。ということは、会場は潮風アリーナですが、審査会自体は横須賀市剣道連盟の主催するもので、三浦市剣道協会に加入している人達も級審査会を受

けられるということですね。

○堀越文化スポーツ課長 昇段試験を横須賀市の体育館で行っておりまして、級審査を三浦市の体育館で行うという役割分担になっています。級審査会については、だいたい 20 パーセントくらいが三浦市在住の選手となっています。

○三壁教育長 ありがとうございます。

あと、4 番のうらり寄席について、チケットの料金を教えてください。

○堀越文化スポーツ課長 前売り券が 1,000 円です。当日券は 1,200 円となっています。

○三壁教育長 分かりました。

先に質問させていただきましたが、委員さんから何かございますか。

○三壁教育長 よろしいですか。

次に、(2)平成 29 年第 4 回三浦市議会定例会の状況について、報告をお願いします。

○君島教育部長 平成 29 年第 4 回三浦市議会定例会の状況についてご報告します。

議案・資料 2 ページ、資料 2 をご覧ください。

第 4 回定例会は、12 月 5 日（火）から 15 日（金）までの日程で開会されました。

市からの議案 23 件の提出、この内 1 件は最終日に追加提案されました固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める議案でございます。更に報告 2 件が行われ、そのうち教育委員会関連の案件は、議案 4 件でした。また、意見書の提出となった陳情は、ございませんでした。

関連議案の審議内容についてご報告いたします。

議案第 83 号「平成 29 年度三浦市一般会計補正予算第 5 号」については、11 月の定例会でご審議いただいたものです。

内容は、教育費の歳出のうち、1 つ目が学校給食費を増額し、学校給食事業の需用費の不足を補い三崎学校給食共同調理場の冷凍機等の修繕を行うもの、2 つ目が三崎中学校給食用エレベーターの故障に伴い給食運搬業務の委託料を追加するものでございました。

3 つ目が災害復旧費を増額し、公立学校施設災害復旧事業の需用費を追加し、台風 21 号で被災した剣崎小学校の渡り廊下の屋根の修繕を行うもの及びこれに伴い保険で担保される歳入を計上するものでございました。

更に、平成 30 年度から平成 34 年度までの指定管理及び平成 30 年度から平成 32 年度までの給食及び給食運搬業務に係る契約を結ぶための債務負担行為の追加を行うものでございました。

総務経済常任委員会に付託され、12 月 8 日に審議が行われましたが、教育費に係る質疑はございませんで、原案のとおり可決されました。

議案第 78 号は、平成 30 年度から平成 34 年度まで三浦市民ホールについて株式会社三浦海業公社を指定管理者にすること、議案第 81 号は、同じく三浦市総合体育館、飯盛調整池公園及び三浦スポーツ公園について株式会社スポーツプラザ報徳を指定管理者にすることについて議決

を求めるもので、都市厚生常任委員会に付託され、12月11日に審議が行われました。

指定管理者選定委員会の委員の構成及び2回行なわれました委員会の進め方等についての質疑がありました。

議案第82号は、三浦市立上宮田児童会館の指定管理の期間を1年間延長することについて議決を求めるもので、同じく都市厚生常任委員会に付託されました。

1年間延長することの根拠についての質疑があり、土地の所有者及び指定管理者である上宮田第1区との協議を進めていくことについて答弁いたしました。

なお、議案については、15日の本会議において可決いただいております。

また、一般質問は12月5日（火）から7日（木）の3日間で行われ、11名の議員から質問がありました。

そのうち教育委員会が答弁いたしました5議員からの質問内容について、ご報告いたします。

1件目は、共産党の石橋むつみ議員からの質問です。

地域学習について「わたしたちの三浦」などの副読本にかかる要望を絡めての質問です。

小学校2年生の生活科の地域探検、3、4年生の社会科の授業の中での地域、まち、市についての学習、小中学校の総合学習そして採用2年目等の教員を対象としたみうら学研究会での教材開発などお答えしました。

2件目は、自由民主党の出口正雄議員からの質問です。

本年度の全国学力・学習状況調査の結果等について問うものでした。

三浦市の教科別平均正答率については、小中学校共に全国と比べその差は縮んできているものの、依然としてやや低い傾向が見られることから基礎的・基本的な知識の定着、学力の定着に必要な基本的生活習慣や学習習慣の確立が課題であると捉えており、授業の中で、子どもたちの学力を向上させるための取組を進めていくことが、学校の本来の役割であることから、教員の授業力向上が最重要だと考えていること、更には家庭での学習習慣の確立が必要なため、各家庭へ学校だより等を活用し、家庭学習の習慣化の協力依頼をしていることをお答えしました。

3件目は、無所属の下田剛議員からの質問です。

いじめ、これに関連してSNS及び授業における赤ちゃんや高齢者とのふれあいに関する質問でございました。

いじめ認知件数、三浦市相談指導教室への相談件数、SNSの功罪、児童生徒と幼児や高齢者とのふれあいの機会についてお答えしました。

4件目は、みうら市政会の出口真琴議員からの質問です。

災害対策に関する質問でございまして、9月28日の大雨、台風21号及び22号による被害状況について、教育委員会からは学校施設の被害状況及び授業等への影響をお答えしました。

5件目は、みうら市政会の神田真弓議員からの質問です。

教育行政について学力向上の取組み及び長期欠席に関連して起立性調節障害について学校における理解と対応について一層の取組みを期待しての質問でございました。

学力向上については、夏休み中の退職された先生の協力も頂いての学習会の取組み、起立性調節障害については精神科嘱託医教育相談の担当医による研修実施についてお答えしました。

以上で報告を終わります。

○三壁教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 私の方から一つ。

一般質問については、質問議員 11 名のうち、半数の 5 名から教育委員会関係のご質問をいただきました。他の部局より厳しい質問があるというのは毎回のことで、教育委員会関連で、皆さん資料をご覧いただいて分かると思いますけれども、こういう質問をいただくことで、議員さんから応援していただいていると思うのは私だけかもしれませんが、こういった質問をいただいて答弁しつつ、これが 3 月の予算に反映すればいいなと 12 月にはいつも思うんです。

学校頑張ってくださいという激励にも取れるわけですが、財政的に厳しい中で、それがそのまま予算に反映するかというと別ではありますが、それでも励みにしながら対応している、これは全職員そうだと思いますが、そういった感想を持ちました。

○松尾委員 「わたしたちの三浦」について、石橋議員が質問されていますけれども、平成 17 年度からは個別発行されていなかったというのを初めて知りました。平成 29 年度は海洋教育研究所の協力も得て、全員配布できたということでしょうか。

○八巻学校教育課長 平成 29 年度におきましては 3 年生と 4 年生全員に配布いたしました。

○松尾委員 昔、「わたしたちの三浦」の内容に間違いがあるので差し替えて欲しいと議会でご質問をいただいたこともありました。最近は個別配布していなかったのですね。分かりました。

○三壁教育長 予算要求しても叶わなかった部分がありました。

今回の答弁概要を見て若干違和感を感じる部分もあるかと思います。みうら学・海洋教育研究所が学校のためにということですが、要するに海を学ぶということは、海の生物だけではなくて、三浦の自然や産業や風土など、三浦を学んでいこうということですから、何ら違和感がなくてもいいと思うんですけれども、この先ですよ。

副読本の発行に関わる組織があり、教育費の中で、年数を区切って発行していけるような市長部局との関わり方を持っていかないと、難しい部分があります。これは非常に大事なことですから、松尾委員がおっしゃったように、これを教育委員会が子どもたちのためにきちっと準備していく。今年はこの学年にしか差し上げられないということもあると思います。とにかく、頑張っていけないといけません。

今回は、委員のご質問にこのようなお答えをさせていただくということであります。

○松尾委員 付け足しをさせてください。

先ほどの教育長報告の中で、海洋教育について非常に実績があったということで、私もそう思っていますけれども、今学校の日常を見ていると、研究発表会というのは別の教科でやって、海洋教育についてもやっているということで、2 つの大きなメインを抱えて学校は教育推進をしているわけですが、これを 1 つという形で打ち出して、海洋教育ではこういう実績を生んで、こういう教育が推進されてきたということの報告会のようなものを、例えば三浦市の 1

校か2校で、近隣の学校や県、あるいは全国の海洋教育を推進している学校を集めて行うという風に持っていくことは可能でしょうか。

○三壁教育長　これは既に、来年2月26日に予定しています。海洋教育のつどい、タイトルは準備の段階ですが、これを岬陽小学校でやりたいという話が、海洋教育研究所の方から教育委員会に申出があって、その準備にかかっているということです。それは市内の先生方も含めて、そういう集いをやりましょうということで企画されたものです。

○松尾委員　私のイメージから言うと、学校というのは学校研究、例えば学力向上等も言われていますので、算数や国語の研究発表会をしていて、先生方もそれをしないといけないと思っている。同時に教育委員会の方から海洋教育についての実践事例も全国に紹介され、海洋教育もやっていかななくてはいけないということで、2つやっているわけです。そうした時に、2つ抱えていくというのがなかなか難しい感じもしますので、それを一つにドッキングした形でできるのかどうか、模索する段階に入っているのかなと私は思うんです。

なぜかという、みうら学が始まった時には、教科から入っているんです。そして、海洋教育が後から付いてきた。そうすると、海洋教育をしていることが即ちみうら学なんだよという位置づけの視点があるのではないかなと思うんですよ。そこを模索していったら、学校は全国に先駆けて、アピールが無理なくできるんじゃないかなと思います。

そういう段階に入ってきていると感じますけれども、一方で学力向上という課題もあるわけですから、何とか方法を考えたら、できるんじゃないかなと私は思います。三浦というのは近隣の他地区と比べても、極めて一生懸命教育実習をして、実践発表することについてはやぶさかではないですから、模索していく段階かなと思うんですけれども。

○三壁教育長　そもそも、一般社団法人みうら学・海洋教育研究所と命名したのは、松尾委員がおっしゃったように、ただ海洋教育研究所でも良かったものを、みうら学がスタートであり、海洋教育も一緒にやっていくんですよという意味でそうしたわけです。

ですから、今お話いただいた部分については、検討しながら、一つにまとまっていけば学校としても良いわけですが、ただ、この2年間で相当援助を受けて、日本財団や笹川平和財団から数千万円のお金を研究所にいただきながらやっているということは、一つは海洋教育を前に進めるという目的があるわけです。

今の松尾委員のお話というのは、教育委員会としてこれからどう構築していくかということです。いつまでも支援をいただけるわけではありませんので、要するにこれから2年後に、財団がどういう支援をしてくださるか、あるいは三浦市が自前で海洋教育を推進・実践していくという可能性もありますので、考える機会としては良い機会だと思います。3年間支援をしていただけると言うことで、来年がその最終年となります。その後も継続してご支援いただけるかもしれませんし、それは三浦の実績において、これからも交渉していくことになります。そのことと、松尾委員がおっしゃった一体化という中での事業の推進ということは、学力向上にも繋がっていくでしょうし、海洋教育でここまで来ているけれども、それを学校と教育委員会がどのようにリンクさせていくのかが、大きな課題かもしれませんね。

○三壁教育長 他にございますか。

○玉井委員 神田議員の質問の中で、起立性調節障害についてありましたが、私の身近な生徒さんに起立性調節障害の子がいて、相談を受けたこともありますので、こうやって質問が出るということは、社会的にも大きな不登校の原因ですとか、中学生の大きな病気といえますか、調子が悪いことの一つになっているのでしょうか。

○君島教育部長 まずは、議会と言いますか、自民党の活動の中で、県議会で質問がされたと伺っております。それを受けて、各自治体においても認識を改めていただく必要があるとの見解をお持ちとのことで、各市町村の12月議会でも自民党会派の議員の方から質問されたのだと認識しています。

また、質問者も自分の経験の中で起立性調節障害のお子さんをご存知とのことで、より深い質問がされたという風に認識しています。

○玉井委員 ありがとうございます。

○下里職務代理 一点よろしいですか。

今まで、各議員さんから、三浦の小中学生の学力の問題について大分質問が出ているんですが、これだけの質問が出ているということは、教育委員会としてこういう風にやっていくんだという確たるものを、一般の方、市民の方や保護者の方に対して、ある程度きちっと示さなくてはならない時期に来ているんじゃないかなと思うんですね。ですから、その辺りのことを、これからはこういう方法で子どもたちの学力を上げる努力をしていこうという指針をしっかりと出さなきゃいけないと思います。家に帰って宿題や勉強をしないとといった子どもたちの環境もありますけれども、大きな柱として、そういった指針が必要な時期だと思いますがいかがでしょうか。

○八巻学校教育課長 おっしゃるとおりで、議員さんからのご質問も同じ趣旨だと考えております。前回もお話ししましたが、環境はもちろんあるのですが、やはり私達は教員ですので、研究発表にあれだけ意欲のある先生方ですから、授業の中で結果に結びつくような、研究とリンクした学力向上の取組みができればと思っています。それを今、各校の担当の教員を集めまして、教育研究所の指導主事が中心となって、何とか学力向上に繋げるようなものを打ち出していきたいと検討を進めているところです。

先ほど松尾委員からもありましたが、研究に関してすごく熱心だというのは湘南三浦管内でも評価が高いところですので、これが何とか学力向上の結果に結びつく研究になればいいなと私も思っています。

○廣瀬委員 私も議会の資料を見ながら、学力調査のことが多く載っているなと思いました。

質問ではないんですけれども、学力調査が点数だけで判断することに疑問はあるのですが、それで評価されるということが現実的にはありますので、前に松尾委員がおっしゃった言葉で、その子の持っている学力をそこに向かわせるようなテストの受け方を学ばせた方がいいのでは

ないかということで、私もそれを聞いて、それが点数に繋がるのではないかなと、別の点から見ると嫌な感じもしますけれども、そういうことも必要だなと思いました。

○三壁教育長 市としては、教育委員会も学校も、先生方の研修会などの回数を重ねていますが、それが職務代理のおっしゃったように点数に繋がっていない。でも、全体のバランスを見た時に、それだけではないところに教員と子どもたちのギャップもあるし、保護者とのギャップもあるんですよね。

ですから、これは即どうするということではなく、じっくりやっていくことだと思います。実際点数に少しずつ動きがあるんですよね。

○八巻学校教育課長 少しずつ縮まっています。

○三壁教育長 それは大事なことだと思います。

○三壁教育長 他によろしいですか。

それでは、次第6「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について、及び
(2)第64回文化財防火デーについて、以上は文化スポーツ課の所管になりますので一括で説明をお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納についてご説明します。

議案・資料13ページ、資料3をご覧ください。

チャッキラコは、昭和51年5月に国指定重要無形文化財に指定され、平成21年9月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

毎年、1月15日に日にち固定で実施されており、来年も例年どおり実施される予定です。

時間は資料のとおりでございまして、10時から本宮(もとみや)にて奉納された後、10時30分に海南神社で奉納が行われます。

その後、チャッキラコ三崎昭和館で踊り、午後1時35分頃より仲崎竜神様、花暮竜宮様、下町の各家々や店舗を回ります。

主催はちゃっきらこ保存会です。

教育委員会は、椅子などの機材の準備や当日の会場警備などで協力をしております。

続きまして、第64回文化財防火デーについてご説明します。

議案・資料14ページ、資料4をご覧ください。

毎年1月26日は文化財防火デーと設定されています。

文化財防火デーは、文化財を火災、震災などの災害から守ることと、文化財愛護の意識を高めることを主な目的としています。

そこで、三浦市でも文化財保護への関心を高めることと、地域・住民ぐるみの防火防災意識を高めるために、消防と教育委員会が合同で消防訓練を実施しています。

今年は、第 25 回目の消防訓練となり、1 月 23 日（火）10 時から 10 時 30 分に南下浦町上宮田の来福寺で実施をいたします。

訓練の想定は、本堂より出火、延焼拡大の恐れがあるため多口放水によって早期消火をし、延焼を阻止するとともに関係者による文化財の搬出など、総合的な消防訓練を行う予定です。

なお、今回は消防業務の広域化後初めての開催で、横須賀市消防局と事務を進めておりますが、実際の訓練は三浦消防署が担当します。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○三壁教育長 無いようでしたら、毎年この時期に、定例教育委員会にも長い間報告事項として出されていた、今年で 72 回目になる三浦半島県下駅伝競走大会、これが主催者側の都合で中止になったということで、その説明を堀越課長からお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 教育長からご説明いただきましたとおり、今年度開催していたら 72 回目になる古い歴史がございます、三浦半島県下駅伝競走大会ですが、例年 1 月第 3 日曜日に開催しておりまして、中継所で教育委員の皆様からも応援をいただいていたイベントです。

今回、主催の横須賀市と、横須賀市教育委員会で開催に向けて準備をされていたところだったのですが、以前よりコース規制を伴わない形で市町村をまたぐコース設定をしており、警察署から走路員の更なる確保や、交通安全の更なる対策を以前から求められつつ何とか開催していたのが実情でした。今年度は警察から更に厳しいご指導、要望を受けまして、それに対応する準備が間に合わないということで、歴史ある大会ではありますが、第 72 回にあたる今年度の開催を中止したいと通知がありました。

警察とも協議を続け、交通安全対策を検討して、来年以降の再開を目指して努力をされるということです。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 横須賀警察署から、横須賀市の市長部局に話があったということでしょうか。

○堀越文化スポーツ課長 横須賀市のスポーツ関係の部局は教育委員会から市長部局に移っておりまして、そちらの方に警察から話があったということです。

○三壁教育長 難しいですね。今年の中止理由の一つとして、野比で道路工事をしていて車線が減少していますとかそういった理由であれば、それが整備されれば第 73 回が開催されますということですか。

○堀越文化スポーツ課長 今回の交通安全の確保というのは、今教育長からお話のありました野比海岸の崩壊とは別のもので、以前から走路員の増員を求められておりました。同じく 72 回の歴史を誇ります、神奈川県下のかながわ駅伝並みの走路員の増強を求められておりまして、そうすると非常に厳しい状況だと思います。

○三壁教育長　しつこいようですが、横須賀、葉山、三浦の2市1町を回るわけですね。その時に、横須賀に負担をかけないで、三浦市は三浦市の走路員を増員し、葉山町は葉山の走路員を増員するといった話を横須賀市にして、大会を存続できないのかと思いますけれども、課長の一存で決められるわけではありませんが、どうでしょうか。

○堀越文化スポーツ課長　駅伝の走路を設けるにあたり、市町に対しての具体的な協力依頼等が今回はありませんでした。私見ですけれども、警察からの指導もあり、協力依頼する以前に今年中の調整は不可能とのことで断念に至ったのではないかと思います。具体的に何人増やせば良いというような検討を、2市1町で行ったという経緯はございません。

○三壁教育長　ということは、72回大会は中止で、それ以降については検討していくという答えでいいですか。

○堀越文化スポーツ課長　再開に向けて横須賀市や横須賀市陸上競技協会の方で努力していく。その中で近隣への要請というものがあるかもしれません。

○三壁教育長　分かりました。他に皆さんございますか。

無ければ次に、(3)三浦市社会教育講座「季節の料理講座」飾りまき寿司“春”ランチの開催について、及び(4)三浦市社会教育講座「趣味の農業」20期生募集について、以上は南下浦市民センターの事業ですので一括で説明をお願いします。

○小川南下浦市民センター館長　三浦市社会教育講座「季節の料理講座」飾りまき寿司“春”ランチの開催についてご説明します。

議案・資料15ページ、資料5をご覧ください。

春の季節をテーマに季節の食材を使用した「飾りまき寿司“春”ランチ」の料理講座を1月25日（木）10時から13時まで南下浦市民センターで開催します。

メニューは「四海巻きとサラダ巻き寿司、魚の簡単照り焼き、みうらの彩り蒸し野菜、菊花豆腐のお吸い物、プチ小豆デザート」です。

講師は、南下浦市民センター社会教育指導員で寿司インストラクター協会認定、飾りまき寿司インストラクターである石渡久子氏です。

昨年も春に同類の料理講座を開催し、評価が高かったものです。

続きまして、三浦市社会教育講座「趣味の農業」20期生募集についてご説明します。

議案・資料16ページ、資料6をご覧ください。

三浦の基幹産業の1つである農業について、シニア世代の人たちを対象に、三浦の特色を農業を通じて理解していただく、また三浦の土地で野菜を作りながら「仲間づくり、生きがいづくり、健康づくり」をする機会の一助とすることを目的に開催するものであり、平成10年から開催している歴史のある講座です。

平成29年度の20期生の15人を募集するため、2月21日（水）9時～11時30分まで、南

下浦市民センターと和田の実習地で説明会を開きます。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○三壁教育長 他にございませんか。

続きまして、(5)三浦市社会教育講座 三浦ゆかりの歌を歌いましょうの開催について、説明をお願いします。

○見上初声市民センター館長 三浦市社会教育講座 三浦ゆかりの歌を歌いましょうの開催についてご説明します。

議案・資料 17 ページ、資料 7 をご覧ください。

「城ヶ島の雨」「岬めぐり」など三浦に関連が深い歌や、懐かしい歌を約 15 曲歌い、歌う喜びを皆で分かち合います。

開催日時は、平成 30 年 2 月 10 日（土）午前 10 時 30 分から 12 時、場所は、初声市民センターの講堂です。

講師は、週 1 回初声市民センターで活動をしている、コーラスサークルしゃぼん玉の講師の、角谷美佐子さん、小林寿美さん、高橋一江さんの 3 人です。

定員は 30 人、受講料は 300 円です。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○三壁教育長 一つよろしいですか。

しゃぼん玉は三浦の合唱連盟に入っているか分かりますか。分かったら教えてください。

○堀越文化スポーツ課長 合唱連盟主催の合唱祭では、しゃぼん玉というサークルが出ているのは聞いたことがありません。

○三壁教育長 見上館長は分かりますか。

○見上初声市民センター館長 私も連盟に加入しているかは分かりませんが、独自に活動しているものと認識しておりました。

○三壁教育長 初声市民センターを拠点に活動しているのですか。

○見上初声市民センター館長 週に一度活動しています。

○三壁教育長 分かりました。

他にございませんか。

それでは、次第7「その他」に入りたいと思います。

まずは事務局から何かありますか。

○君島教育部長 ご報告させていただきます。

本年度のふるさと納税の関係で、みうらっ子応援プロジェクトというものがございまして、目的を持った事業に対してふるさと納税を求めるものでございますが、これは3段階に分かれておりまして、第1段階が小中学校に防犯カメラを設置するというもので、寄附の目標額が1,600万円でしたが、これが12月8日に達成されました。従いまして、現在教育委員会においてこの防犯カメラの設置に係る予算を追加計上する作業に入らせていただきましたことをご報告申し上げます。

ちなみに第2段階は、保育園・幼稚園に防犯カメラと安全な遊具をとということで、目標額が700万円です。12月18日現在で196万円、達成状況28パーセントという状況になっています。一旦12月で、このふるさと納税のプロジェクトについてはお休みになりますが、今年度12月までに寄附された金額はそのまま平成30年度に引継ぎまして、4月以降に目標額を達成しますと、次のプロジェクトの予算を執行するというような段取りになってまいります。教育費の予算が追加されることになりますので、追加でご報告させていただきました。

○三壁教育長 その事務的な処理に関わっている部署はどこですか。

○君島教育部長 教育総務課の事業の中に組み込まれることになるかと思います。

○三壁教育長 現在担当している部署はどこでしょうか。

○君島教育部長 受け入れまでは市の財政課でございます。

○三壁教育長 事務局からは以上でよろしいですか。続いて教育委員の皆さんから何かございますか。

○下里職務代理 ここ1週間ほど新聞を見ますと、中学校、高校のブラック部活という解説もありますし、教員の労働時間という捉え方もありますし、色々な面で新聞に載っているんですが、教育委員会として、各中学校の部活動の時間等は把握をされているのでしょうか。

気になったのは、以前から議会があると、議員の中から少しずつそういうことについて、ストレートではないにしても質問があったように記憶をしています。中学生ですから、週7日ある場合、ちゃんと休養日を決めないと先生についてもオーバーワークになってしまいますし、子どもたちにとってもあまり良いことではないと思います。それを教育委員会としてどこまで把握されているか伺いたいと思います。

○八巻学校教育課長 教員の働き方改革については文部科学省からの通達が出ているところでして、市の教育委員会としても校長会議の中で勤務時間を短くするような工夫についての話を進めております。その中で、勤務時間の把握に関しては、最終的に学校にセキュリティがかか

る時間をこちらで把握できておりますので、それを元に一番多かった先生でどれくらいかというのを各学校が把握できている状態になっています。来年度には出退勤の管理ができないかなというところで、現在予算を含め検討しています。

部活動に関しては、平日は三浦の子どもたちの通学状況を考えますと、今の時期なら5時までしかできない状況ですので、平日に関してはそれほどオーバーワークになっていないと考えております。休日に関しましても、学校が週5日制になった時に、試合が続く場合や、試合が間近な場合は別として、土日のどちらかは休みましようということで進めておりますし、各学校、各部活ごとに月の計画表を出すようにと指示しておりますので、そこまでのブラック部活はない状態だと把握しています。

○下里職務代理 では教育委員会に来れば、どういう部活が何時までやっているかということが分かるわけですね。

○八巻学校教育課長 あくまで計画になりますが、そういうことになります。

○三壁教育長 現状を考えると、そのチェックも必要かもしれませんね。教育委員会がやりなさいというよりも、働き方改革も含めて校長、教頭の管理職は問題意識を持っていると思いますから、各校でそのくらいはやっておかないと、むしろ問題が起きた時には教育委員会は何をやっているんだということにもなるでしょう。その手前のところで自発的にやっておく必要があると思います。

それから学校の先生だけが指導者ではなくて、外の指導者も取り組んでいる状況があるわけですね。全体を見つめていかないと、一点だけ見ていてはだめな話だと思います。ですから、職務代理のお話というのはもっともだと思います。部活というのは、このところ先生方も学校も、当事者が問題意識を持っているわけです。それに対して時間外などの調整がきっちりつければ、また方向が違ってくるかもしれませんね。先生方が提起している問題ですから、それに応えなければいけません。

○下里職務代理 ある意味での危機管理でもあるわけです。

○三壁教育長 確かにそうです。

以前、日曜日に子どもたちが部活をやって、月曜日に寝ているということで、三浦でも問題になりました。それで、日曜日は休みにしましょうということになりました。ただ、公式戦が続いたりすると、それも崩れていくわけですね。ですから難しさはありますが、子どもや教員の健康管理と、部活はもちろん大事ですが、通常の授業がありますから、それに支障があるようでは、やはり全体のバランスが上手くいっていないということですから、その辺りは考えていかないといけないと思います。

部活の事についてお話できるようなことがあれば、機会を見てまたご報告させていただきたいと思います。

○三壁教育長 他にございますか。

○松尾委員 では1点よろしいですか。

学力向上に関して、神田議員がおっしゃっている寺子屋塾と同じような形で、県から推進されている学び方委員会なども含め、実際に例えば不登校の教育相談教室への補助が、今県から、あるいは国からどのくらいありますか。

○八巻学校教育課長 把握できておりません。申し訳ありません。

○松尾委員 心配しているのは、海洋教育の支援についてもあと2年が限度ということで、そこで援助が無くなるんですね。無くなる前に実績を積んでおかないと、市から継続して単独で予算を確保するのは難しいので、実践の経過とか、今後の見通しが必要になってくると思います。ぜひ海洋教育を途絶えさせないためにも、そのための計画を事前に作っていただかないと、心配な部分があります。

一方で海洋教育は推進、充実と言っていて、2年後に財政援助はしないことになった場合、それで終わってしまっただけでは意味がないわけです。三浦はそういうことが多いですから、ひも付き予算というのは私の時にも注意してやっていたんですけども、そのひも付き予算を継続していくためにはしっかりとした実績を上げていかないと、すぐ中断になってしまいますので、この2、3年は心してかかっていたいただきたいなと思います。

○三壁教育長 これはしっかりやっていかなくてははいけませんし、支援の中には人件費も含まれているんですね。これが大きいです。ですから私から市長には直接話をしています。

財団の方からの支援も平成28年、29年、30年ということで、来年が期限です。これも少しずつ減ってきています。去年が3,200万円、今年は1,870万円、来年はもっと減るわけです。

当然減ったら減っただけの業務の内容を考えていかないといけないということが一つと、市としてどこまで教育委員会の海洋教育に予算を付けていただけるのかということについて、既に今年あたりから話を進めています。来年一年の猶予があるわけですが、その上で平成31年をどうしていくか。教材や備品等も今までの援助の中から購入していますので、これからも絶やさずやっていくためには人件費が必要ですが、正規に雇うというのは今の財政状況では無理なので、非常勤で固めていくのか。現状を考えた時に学校教育課でできることではなく、やはり特化してやっていく必要があると思いますが、それを自前でできるような方策を考えていかないとはいけません。

ただ、救いとしてはこの3年の実績の中で、再度財団が、ここまでやっているならもう少し協力しましょうということがあるかもしれません。海洋国家ですから、国もかなり海洋教育に力を入れていることは間違いないですね。その中で海岸沿いの地域の皆さんが集まって、フォローアップ研修をやったわけです。もっともっと広まっていけばいいなと思いますので、松尾委員がおっしゃったことについては私も心配しながら、これからどうしていこうかと思っていますので、できるだけ力を発揮しながら、市長部局とも、財団とも、あるいは東京大学海洋アライアンスや東京大学臨海実験所とも、これからも逐一話をしながらやっていければなという風に思っています。

機会があればここでも色々話をお聞きしたりできたらと思います。また、報告会などの際に

も教育委員の皆さんにもご案内をお渡ししますので、ご一緒に出席いただけたらと思います。絶対に感動すると思います。海洋教育のみならず、色んな発表会でもそうですが、子どもたちは一生懸命です。あれだけのことをよくやるなと思うくらいですから。折に触れて色々な情報を皆さんにお出ししますので、よろしくお願いします。

○三壁教育長 他にございませんか。ないようでしたら、以上で「その他」を終了いたします。

○三壁教育長 これをもちまして、平成 29 年第 12 回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

◇ 午後 2 時 50 分 閉会 ◇
